

白石の新鮮野菜 う〜んとうまいから、食べてみてけらい〜ん!

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

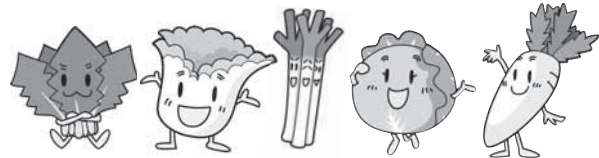
白石市農産物直売所連絡協議会では、会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

農林課 ☎22-1253



●今月の旬の野菜

ほうれん草、白菜、ねぎ、キャベツ、大根 など



1. 青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」を開催中! 月初めの販売日に開催します。1月のサービスデーは1月19日(土)。お買い上げ金額にかかわらず、好きな新鮮野菜1点をサービスします。1月はポーチパークのみ営業します。

- ①ポーチパーク内【1月19日(土)より営業】
- 販売日時: 毎週土曜日 9:00～12:00
- ②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)【2月13日(水)より営業】
- ③いきいきプラザ【休業中。4月より営業再開】
- ※スーパービッグ白石店でも新鮮野菜を販売しています。
- ☎大槻 久江 ☎25-8572

2. 百姓市場【1月6日(日)より営業】

- 販売日時: 毎週火・日曜日 10:00～13:00
- 場 所: ポーチパーク内
- ☎佐久間 義昭 ☎25-6836

3. 羽山朝採り市【1月12日(土)より営業】

- 販売日時: 毎週土曜日 9:00～12:00
- 場 所: 犬卒都婆公会堂前
- ☎小畑 胖 ☎27-2236

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼い卵などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。  
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。



1月6日(日)

「小十郎の郷」新年もちつき大会を開催します!

しろいし直売マルシェ「小十郎の郷」では、新年1月6日(日)から、採れたて新鮮野菜や物産、スイーツなどを販売します。

6日の11時から、初売りイベントとして「小十郎の郷」新年もちつき大会を開催。当日、お買い上げいただいたお客さまに、つきたてのおもちをサービスします。なくなり次第終了となりますので、早めにお越しください。

- 販売時間 9:00～18:00【年末年始を除いて毎日営業!】
- ※12月31日(月)から1月5日(土)はお休みします。
- 場所 旧白石市地方卸売市場(福岡長袋字八斗蒔地内)
- ☎小十郎の郷 ☎22-0881
- http://www.kojuro-sato.com



4. 馬牛沼産直センター

【1月5日(土)より営業】

齋川産の特産凍豆腐やころ柿、樽柿のほか、毎年好評の手作り切り餅などを販売しています。1月5日(土)の初売りでは、恒例のお買い上げ抽選会を開催します。

- 販売日時: 毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00 (定休日: 毎週月・水・金曜日)
- 場 所: 国道4号沿い馬牛沼付近
- ☎馬牛沼産直センター ☎25-0520
- bagyunuma@yahoo.co.jp



5. パーバ工愛市(クラブいち)

①JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内【1月16日(水)より営業】

- 営業初日は初売りお楽しみプレゼントを用意しています。
- 販売日時: 毎週水曜日 9:00～12:00
- ②JAみやぎ仙南福岡支店構内(アグリハウス)
- 【休業中。3月より営業再開】
- ☎JAみやぎ仙南女性部白石地区パーバ工愛市 ☎25-3531

6. 軽トラ市【1月11日(金)より営業】

- 販売日時: 毎週金曜日 9:00～12:00
- 場 所: すまゝひろば
- ☎西籠 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

7. 小原いきいき直売所【12月から3月まで休業】

12月から平成25年3月までお休みします。平成25年4月から営業を再開します。

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名のほか書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

栗飯を供する命日栗山に亡夫と迷いしかの日  
思い出す 阿部はぎの  
ふるりに農を継ぐ子ら居らぬ今かつての畑も  
草伸び放題 八嶋 正子  
手が震え書く文字のふれ甚だし古き日記をな  
つかしみ見る 菅野ちさよ  
昨日まであんなに元気で居られたに亡くなら  
れたは貴方でしたか 玉泉堂あや子  
家苞と山百合出だすわが夫は草の匂いを袖に  
まどわす 鈴木 茂子  
公園にはじけていたる子らの声散歩を止めて  
しばしながむる 佐藤 啓子  
病かと怯ゆるころ包むがに白きコスモスや  
さしく揺るる 寺崎 悦子  
縫製工場にぎわいし跡広びろと更地になりて  
秋深みゆく 石田みどり  
黒き波に耐えて生きたか鳥やまに群れて花咲  
くしおがま小菊 後藤 淑子  
夕映えの亡き庭にコスモスの乱れ咲く花か  
せ揺らしゆく 末吉アツ子  
評 一首目、もう語り合えない栗山でのこと。  
尽きない夫君への思いが歌となった。  
二首目、半ば吐き出すような結句。後継者  
不在は、ふるさとの変貌の一例に過ぎないの  
である。  
三首目、老いの今今が出てくる。下の句に  
は、自らへの愛惜の情。

俳壇

山家 弘子 選

復興の槌音遠し初時雨  
綿虫の新車はなれず舞ひをりぬ 斎藤 典子  
隙間風泣き声大木隣の子 和田 游稀  
大樫はだかとなりし木の葉雨 遠藤 忠臣  
採る人の途絶えし柿や鴉飛ぶ 岩松 隆志  
新米の香りなつかし父母のこと 岩澤 伍峯  
佐藤ユキ子

柳壇

四電 英夫 選

喜寿となる残り的人生帰り花  
朴直の父に似合ひし頼被 跡部 祐子  
朝寒や読経の響く大師講 制野 リエ  
青空や芋煮の鍋を囲み合う 大庭美智子  
別当内信夫  
評 一句目、震災後の復興が遅々として進ま  
ない。復興費が全く関係のない所に使われている  
ことを知り唯然とした。時雨が降れば間もなく  
厳しい冬がやってくる。このまま置き去りにさ  
れいくのではないかと、希望を失い暗い気持ち  
になってくる。  
二句目、念願の新車を買った。まるで花嫁を  
迎えたような気分である。綿虫も新車と知って  
か、まとわりついて離れない。うきうきしたう  
れしさが伝わってきた。  
三句目、何もかもうまくいかず気分が滅入って  
いると、隣の子が親にしかられたのか声を張り  
上げ泣き叫んでいる。自分も一緒に泣きたいくら  
いだ。隙間風という季節に託して詠んだ佳句。

～「再生」「未来」への思いを川柳に込めて～  
平成24年度「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました!



(左)受賞者の皆さんと審査委員長の四電英夫さん(前列右端)  
(上)市長賞を受賞した日下走くん

11月19日、人権啓発と男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回のテーマは「再生」「未来」。7回目を迎えた今回は、幅広い世代の方々から602句の応募があり、審査の結果、10人の作品が入選しました。さらに、入選作品の中から日下走くん(白石第二小4年)の作品が市長賞を受賞しました。入選作品を含む応募作品を、1月10日(木)～31日(木)まで、ふれあいプラザ2階ホールに展示します。

●市長賞作品(敬称略)  
『小さな手 大きな未来 にぎってる』 日下 走

●入選作品(敬称略)  
『被災地に 希望と言う名の 花が咲く』 我妻 遼  
『子の未来 覗いて見たい 万華鏡』 遠藤 行夫  
『曾孫孫の 未来の無事を 祈る古い』 鈴木 誤差  
『ありがとう みらいをつくる まほうだよ』 大槻 息吹  
『ほくの夢 かなえてみたい このまちで』 佐藤 遼真  
『あの時を 心に刻み 前を向く』 小林 麻実  
『国境も 県境も越え 絆の輪』 大浦 俊輔  
『復興を 見守る歴女 ありがとう』 高橋 愛子  
『人と人 支え助けて 虹かける』 山崎 晃平